

平成30年度 第1回 埼玉県生涯学習審議会 会議録

1 日 時 平成30年11月6日(火) 15:00～15:45

2 会 場 J A埼玉県信連浦和分館 会議室A

3 出席した委員 (14人)

井深 道子 委員、植田 富美子 委員、風間重文 委員、木村 直美 委員、
西村 平雪 委員、林 俊幸 委員、春山 教子 委員、和田 明広 委員、
小出 敦子 委員、関根 正昌 委員、寺山 昌文 委員、中野 洋恵 委員、
羽石 貴裕 委員、山本 和人 委員

4 欠席した委員 (5人)

内田 修弘 委員、比嘉 里奈 委員、青山 鉄兵 委員、有田 るみ子 委員、
笛木 正司 委員

5 議事の経過

(1) 会議の公開・非公開

会長が会議の公開・非公開を委員に諮り、公開とする。

傍聴者なし

(2) 会議録署名委員の指名

会長から春山 教子 委員と小出 敦子 委員が指名された。

(4) 議題及び経過

ア 議題

- 第3期埼玉県教育振興基本計画(案)の策定状況について
- 埼玉県生涯学習推進指針の見直しについて
- 今後の日程について
- その他

イ 経過

第3期埼玉県教育振興基本計画(案)の策定状況について	
会長	はじめに、第3期埼玉県教育振興基本計画(案)について、事務局より説明願いたい。

事務局	資料2について説明。
会長	説明に対して、御質問、御意見はあるか。 <委員からの質問・意見なし>

埼玉県生涯学習推進指針の見直しについて

会長	続いて、埼玉県生涯学習推進指針（以下、「指針」と表記）の見直しについて、事務局より説明願いたい。
事務局	資料3について説明。
会長	指針の見直しに当たり、第3期埼玉県振興基本計画（案）との整合性を図る旨の説明もあったが、御質問、御意見はあるか。
和田委員	事務局に確認するが、策定10年後には、指針の大きな改訂となるが、今回は、3年ごとの見直しに当たるので、8つの方策について意見を述べることで良いのか。
事務局	その通りである。今回は策定6年目の折り返しでもあるので、国の計画や県の計画（案）との整合性を図って参りたい。
会長	それでは、資料3の方策について、点検の視点も含めて意見はあるか。
寺山委員	「障害者の生涯学習」の重要性が示されているので、障害者と健常者が共に学び合える「共生社会の実現」という言葉を入れると良いのではないか。
羽石委員	指針2と3については、第3期埼玉県教育振興基本計画（案）の施策26「学びの成果の活用の促進の主な取組として、「(ウ) 社会教育関係団体等をつなぐネットワークづくり」と「(エ) 学びを活用した地域課題解決への支援」が示されているので、方策の中に取り入れると良いのではないか。 また、(エ)の「b 学びを通じた地域課題解決の実践事例を収集し、発信します」とあるので、具体的な事例を挙げるとより分かりやすくなるのではないか。
事務局	指針2、指針3に重点を置いているが、市町村社会教育行政においては、どのように取り組めば良いか、具体的にイメージすることができないこともあるので、事例を交えて伝えていくのは理解が深まることが考えられる。
関根委員	社会教育主事が減少している現状を踏まえて、社会教育主事、社会教育士の育成を観点に入れてはどうか、
事務局	2020年度から社会教育主事講習が新たなカリキュラムとなり、社会教育主事有資格者だけでなく、「社会教育士」と名乗ることができるようになるので、行政、学校だけでなく、指定管理者等にも積極的に案内していく。

中野委員	「サステナビリティ（持続可能）」という言葉が国際的なキーワードになっているので、方策に取り入れてはどうか。
寺山委員	人口減少が進む中、「持続可能」は重要なキーワードであるので、是非とも取り入れてほしい。
今後の日程について	
会長	次に、今後の日程について、事務局より説明願いたい。
事務局	資料5について説明 <委員からの質問・意見なし>
その他	
会長	その他、何かあるか。 <委員からの質問・意見なし>
議事まとめ	
会長	次回の会議までに、事務局には、指針の見直し案を作成していただきたい。それでは、本日の議事は以上で終了する